

日ごろの成果を発揮

第三十六回市消防操法大会と第十二回市消防団競練会が西総合グラウンドで開催され、各団員は猛暑の中、きびきびとした動きで各競技を行いました。

特に午後からの競練会は、実際の火事現場を想定したもので、倒壊家屋の負傷者を煙道を通して救助したり、水利を妨害している車両を移動、障害物などを乗り越えてホースを延長し、積極的に放水活動をするなど、本番さながらの訓練となりました。



小型動力ポンプ操法



競練会



消防ポンプ自動車操法

市操法大会
第4分団
市競練会
第7分団

◎操法大会成績

●消防ポンプ自動車の部

優勝 第一分団一班(太田)

●小型動力ポンプの部

優勝 第四分団一班(蜂屋)

準優勝 第四分団二班(蜂屋)

第三位 第七分団二班(三和)

総合の部

優勝 第四分団(蜂屋)

準優勝 第七分団(三和)

第三位 第五分団(加茂野)

収納ホース延長の部

優良賞 第八分団(下米田)

個人賞

(指揮者) 第四分団二班 日比

野克谷(二番員) 第四分団一班

酒向篤憲(二番員) 第四分団一

班 酒向孝生(三番員) 第四分

団一班 尾石元文

◎競練会成績

優勝 第七分団(三和)

準優勝 第八分団(下米田)

第三位 第六分団(伊深)

三和・下米田地区 9月1日(日) 市総合防災訓練



大地震を想定した 総合訓練

地震はいつ起きるかわかりません。
特に地震には火災がつきもので、地震の被害よりも、火災の被害が多いことを知っておくべきです。
こうしたなかで、市では被害を最小限に食い止め、人の安全と財産を守るため、今年度は市内二会場を中心に、地震を想定した市総合防災訓練を実施します。



訓練の目的

この訓練は、地震による各種の被害発生を想定し、住民と防災関係者が一体となって、迅速かつ的確な災害応急対策の実施を支援し、防災技術の向上と市民の防災意識の高揚を図る、防災体制の万全を期するに努めます。

「大地震」発生！

訓練の想定

平成三年九月一日(日)午前七時四〇分に岐阜県知事から、駿河湾を震源とする大規模な地震が、数時間以内に発生する可能性があるとの「警戒宣言」発令の通知を受けた。

午前八時に大地震が発生した。当市の震度は五の強震で、市内では建物の倒壊、道路損壊、火災の発生、電力、通信の途絶など甚大な被害を受け、同時に、山林火災が発生し、地域は大混乱を来した。

各種団体が参加

会場は、三和小学校運動場、下米田小学校運動場の二会場に分かれ、加茂警察署、NTT中濃支店、中部電力(株)加茂営業所、加茂医師団、可茂消防事務組合、市消防団、加茂地区交通安全協会(三和・下米田支部)県LPG協会可茂支部、三和・下米田地区自治会、自警隊、市赤十字奉仕団、婦人会、婦人防火クラブの延べ千五百人が地震と火災に備えた訓練を実施します。

濃尾大震災 100年のすべて

〈特別展〉ゆれる大地

今年は、濃尾大震災(明治二十四年十月二十八日)からちょうど百年目にあたります。

濃尾大震災は、死者七、四六九人、負傷者一九、六九四人、民家全壊八五、八四八戸と近代における日本地震史上最大規模のものでした。

当時の被害の様子を伝える資料や写真などを集めた「濃尾大震災百年のすべて」展を開催します。防災意識を高めるためにも、ぜひご覧ください。

期間 八月二十二日(木)から二十八日(水)まで

時間 午前九時から午後五時
会場 市役所玄関ロビー

テーマ『流れ』 彫刻制作スタート

美濃加茂彫刻シンポ'91

前平公園で

8月31日まで 公開制作

オープニング

セレモニーを開催

「清流と彫刻の街」を目指して行われる『美濃加茂彫刻シンポジウム'91』のオープニングセレモニーが七月二十七日（土）にシティホテル美濃加茂で行われました。

開会式には、シンポジウム実行委員会、美濃加茂青年会議所の関係者らが出席し四人の制作者を紹介したあと、入刀式でイベントの成功を祈りました。
また、九月一日（日）午後一時からファイナルフェスティバルが開かれ、各種イベント（クイズ・工作教室・ミス写真撮影会など）が行われます。



▲アイロスさん



▲岡田さん



▼山田さん



▼水田さん

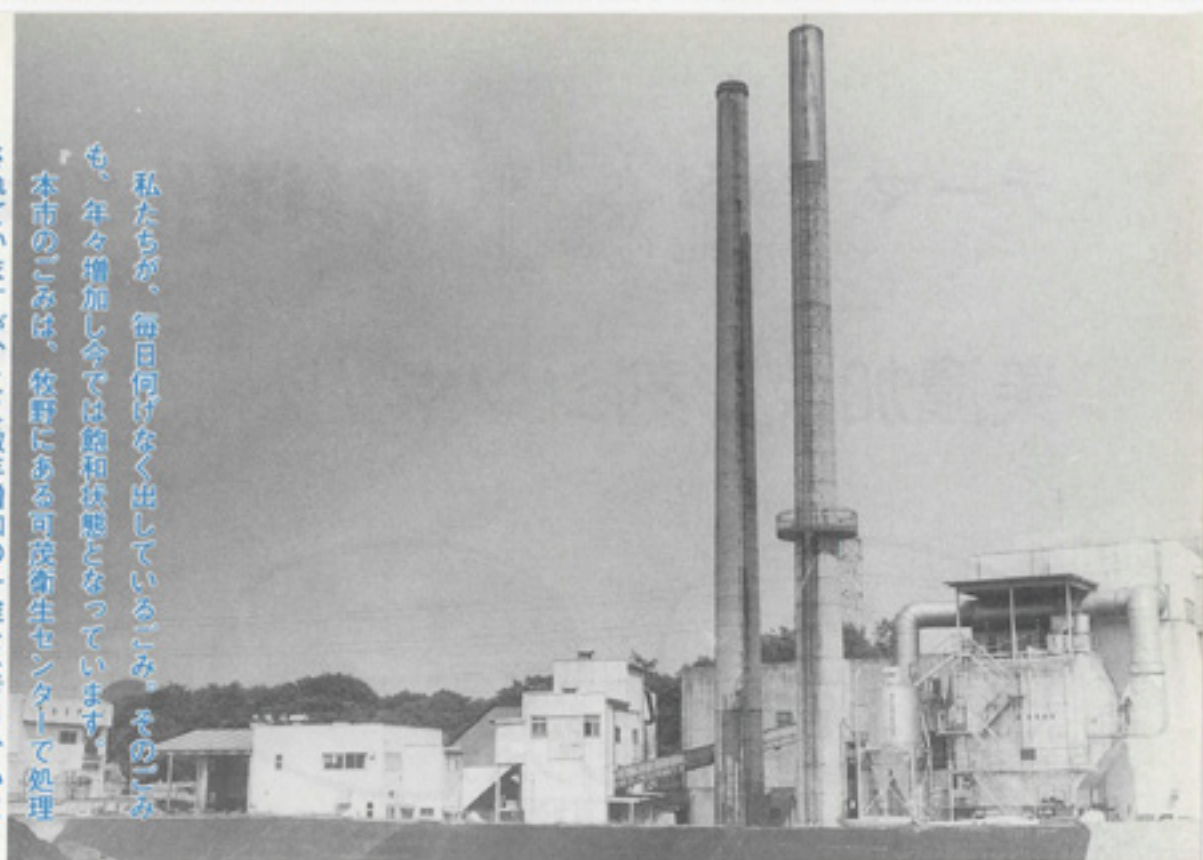


さわやかな笑顔で

お年寄りを激励

県内を公式訪問された紀宮さまは、七月二十七日、下米田町にある特別養護老人ホーム「さわやかナーシングビル」と老人保健施設「さわやかリバーサイドビル」をご訪問されました。
紀宮さまは、玄関で待っていた車いすのお年寄りに手を握って歓迎にこたえられたり、リハビリに励むお年寄りにさわやかな笑顔で、優しく声を掛けられていました。
また、玄関前広場には多くの市民のかたが集まり、盛んに手を振って歓迎しました。





私たちが、毎日何げなく出している「ごみ」。その「ごみ」も、年々増加し今では飽和状態となっています。
本市の「ごみ」は、牧野にある可成衛生センターで処理されていますが、ここ数年増加の一途をたどり、いまでは円滑なごみ処理が難しくなっています。
そこで皆さん、今一度「ごみ問題」について考えてみませんか。

ありません 「資源」です。

その「ごみ」本当に

「ごみ」ですか

皆さんの家庭の中を、一度ぐるっと見回してください。新聞やチラシ、雑誌、段ボールなどが目につくと思います。

これらがみなごみになったとき、ごみとして捨ててしまふのでは、資源の有効利用になりません。

使い捨てからリサイクル（再生利用）に転換してごみの量を減らす工夫を、みんな一団となつて考えてみましょう。



新聞と雑誌は

分けて回収

皆さんにお願いしたいのは、必ず新聞と雑誌に分ける事です。この二つが混ざっていると、質のよい再生紙ができません。菓子箱やワイシャツ箱は、平たく伸ばしてまとめて分別しましょう。なお、牛乳パックは、一部の製紙メーカーで再生利用しています。牛乳パックだけを分別回収し、新聞や雑誌の中には絶対入れないようにしてください。（広報七月十五日号参考）

身近な紙製品に

再利用

資源もエネルギーも乏しい日本では、従来から紙のリサイクルに努力してきた結果、いまでは紙の原料の約半分は古紙となっています。

実際どのような形で、わたしたちの生活に戻ってくるのかご存じですか。新聞や雑誌はもちろん、トイレットペーパーやチリ紙、絵本、アルバム、紙テープなどには、ほとんど古紙が入っています。

また、せっかく古紙を分別回収しても、それが紙の原料として使われなければ、結局ごみとなってしまう。そこで、古紙の分別とあわせて再生紙を、家庭の中でも積極的に使用していくことが、紙のリサイクルを進めるうえで最も重要なことなのです。



リサイクルで

森林資源を守ろう!!

一家庭から回収された古紙が、どの程度省資源に役立っているのかご存じですか。

一家庭当たりの一年分の新聞が、直径十四センチ高さ八メートルの立木一本に相当します。

一世帯で一新聞を購読しているとしても、美濃加茂市だけで、一年間に、一万二千本余の立木

が伐採された計算になります。

地球環境問題のひとつである森林資源の保護問題にも、古紙の回収・利用が必要となっています。

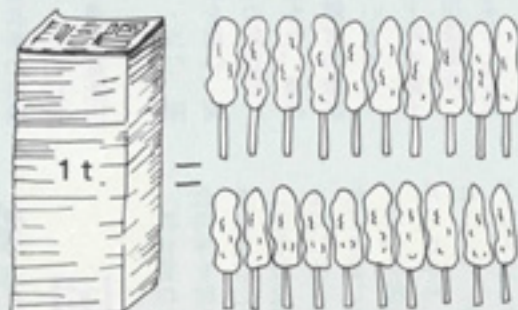
各家庭で、個人個人が古紙の再生利用の意義を見直し、紙のリサイクルを実践していきましょう。



「ごみ」では大切な

一口メモ その1

いらなくなった新聞や雑誌などの古紙を1トン集めると、直径14センチ、高さ8メートルの立木、20本相当になります。



一口メモ その2

牛乳パック30枚は、古紙1キロに当たります。これで、トイレトーパー4〜5個ができます。



いも・たいへん

廃品回収にご協力を

ゴミの中でも、紙類と金属類は特にリサイクル（再利用）の道が大きいものです。

町内会や子ども会、地区の学校などが実施する、廃品回収など積極的に利用したいものです。地域で「資源ごみ」の再利用について、みんなで話し合ってみましょう。

ライフスタイルを一人ひとりが見直し、ごみを減らせるところでは減らしていく努力をしていきましょう。



白隠の書

『濃陽富士山記』

市文化財に指定

市教育委員会では、江戸時代中期の高僧である白隠禪師筆の「濃陽富士山記」を市文化財に指定しました。

白隠禪師は、正徳五年（一七一五）に山之上の山中に入つて一年九カ月の間、修行を行いました。この時、山之上富士の



由来に触れながら、修行の援助をしてくれた鹿野善兵衛の功績をたたえ、恩に報いるために書いたものが、この「濃陽富士山記」です。

縦六二センチ、横二一・八センチ、厚さ七ミリのヒノキの板を用い、両面に約一・五センチ四方の升目に、やや縦長の楷書で書かれ、筆の運びも滑らかで、墨継ぎの濃淡にも心配りがされています。

この碑文は、山之上町の富士神社（氏子総代・福田達雄氏）に奉納され、以来神宝として伝えられています。

今回指定された書は、白隠の書跡の中でも、三十二歳という早い時期に書かれたもので全国的にも極めて貴重なものです。

新会員を募集中

津田左右吉博士顕彰会

市の名譽市民の第1号として知られる津田左右吉博士が逝去されて今年で30年目を迎えます。

津田顕彰会では昨年度の理事会において、30年という節目にむけ「胸像の設立」が計画され、下米田小学校の校庭に決定いたしました。

学問研究一つに生涯を貫いた津田博士を皆さんに知ってもらうため津田顕彰会では新会員の募集をしています。

問い合わせは、津田左右吉博士顕彰会事務局（市社会教育課☎25-4141）まで。



変わります (9月スタート)

国の教育ローン

教育費の負担軽減と教育の機会均等を図るために進学する人を対象にした「国の進学ローン」（進学資金貸付制度）は、これまでに約百万人の方々に利用されてきました。

この「国の進学ローン」が九月一日から、新しく「国の教育ローン」（教育資金貸付制度）として生まれ変わります。これは、在学中の費用も対象に加えるほか、融資金額も百五十万円に引き上げるなどより利用しやすくなりました。

ご利用いただける方

次の学校に入学・在学される

方の保護者、または本人

◆高等学校・高等専門学校

◆短期大学・大学・大学院

◆専修学校・その他、国や自治

体、行政機関などの指定、認可を受けた学校

使いみち

入学時 入学金などの学校納付

金、受験費用、そのほか入学の

ために必要な費用

在学中 授業料や、下宿代など

住居にかかる費用など

詳しくは、最寄りの銀行、郵便局、または国民金融公庫多治

見支店（☎〇五七二二二一六

三四二）でお尋ねください。

夏だ！ キャンプだ！ 放映

夏休み「子ども講座・野外キャンプ」を、三和町御殿山で行いました。自然を探索しながら、団体行動を通じて人とのふれあいを体験したり、夏の夜空をウオッチングするなど、楽しい一日の模様を、岐阜放送「あなたの街から：美濃加茂市」で放映します。ぜひ、ご覧ください。

放映日 八月二十九日（金）午後六時



身体障害者の 巡回相談

在宅の身体障害者のための巡回相談を実施します。(整形外科のみ)

■と き 8月23日(金)

- 受付 午前10時から午後2時30分
- ところ 市中央公民館
4階403・404号室
- 内容 身体障害者手帳相談
補装具の判定
詳しくは福祉課接遇係

☎25-2111 内線 312

これは便利だ

平成4年版「県民手帳」

予約募集中

各種統計資料や日常生活に役立つ事項を収録して、より使いやすくなりました。

- 価格 400円
- サイズ 16.9cm × 9.1cm
- 表紙 紺・エンジ・グレー・緑
ソフトビニール製
- 主な内容 日記編：七曜表・略歴・月別行事予定表など
統計編：都道府県勢、市町村勢の概要など
名簿編：主要官庁など
生活編：県民相談の窓口など
- 申し込み 8月29日(木)までに各連絡所または市企画開発課
(☎25-2111 内 246)に申し込んでください

第8回市陸上競技大会を開催

- 日時 9月15日(日) 小雨決行
午前9時開会式
- 場所 美濃加茂高校グラウンド
- 種目 1部(小学5・6年 男・女)
100m・1500m・ソフトボール
投げ・4×100mリレー
2部(中学生)
100m・200m・4×100mリレー・走幅跳・砲丸投・走高跳(男・女共)400m・1500m・3000m(男)800m(女)
3部(高校生)
100m・200m・1500m・4×100mリレー・走幅跳・砲丸投・走高跳(男・女共)400m

- ・5000m(男)800m(女)
- 4部(一般) 3部と同じ
地区対抗リレー(各町で組む)
4×100m(一般女子、40・30・20代の男子)

参加資格 市内在住、在職、在学者
申し込み 9月5日(木)までに中濃体育館(☎26-3241)へ



第44回

みんな集まれ!!

「初秋親子のつとめ」

大自然の中で、力いっぱい活動することにより、親子のふれあいをはかりませんか。

日時 九月七日(土) 午後三時から八日(日) 午後二時から

場所 県立土岐少年自然の家
内容 テント泊・ますつかみ・五平もちづくり
キャンプファイヤーなど

会費 一人二、〇〇〇円程度
(一泊三食・シーツ代・保険料・実習料)

申し込み ハガキに参加者全員の氏名・住所・年齢・電話番号を記入して土岐少年自然の家(〒500-9151土岐市泉町定林寺園戸 ☎〇五七二一五四一四五二七)へ申し込んでください



ワープロ教室

初めてでも打てます!

加茂農林高校では、初めてワープロに挑戦してみようという方を対象にワープロ教室を開催します。

■期間 九月の毎週土曜日
午後一時半から(四回)

■定員 十五名(受講料は無料)
*十八歳以上の方に限ります。

■場所 加茂農林高校 林業工学科コンピュータ室

*八月二十二日(木)から市社会教育課(中央公民館)で受付を開始します。

老健「さわやかリバーサイドビル」

職員を募集

社会福祉法人慈恵会では、老人保健施設「さわやかリバーサイドビル」の看護婦と介護職員を募集しています。
問い合わせ
下米田町東柳井「慈恵会」
☎二五一九七九〇 または
二五二五五八八まで

移動入浴乾燥車の派遣

現在、美濃加茂市には在宅での寝たきり老人が約80人みえます。

ねたきり老人に関するお世話は、肉体的にも精神的にも大変な労働になります。その中でも入浴は、一人でお世話することが非常に難しく大変であります。そこで市では、保健婦・ホームヘルパー・入浴ボランティアの協力を得て、入浴車を自宅まで派遣し室内にてゆっくりと入浴をしていただく事業を行っています。

サービスの内容

入浴、健康チェック

入浴回数

月1～2回程度

使用料

無料

問い合わせ

福祉課福祉係 ☎25-2111 内線 311

利用者の声から

おばあちゃんが寝たきりになってから、お風呂に入ることができず、ぬれたタオルで体を拭いてあげていましたが、とても大変でした。なんとかお風呂に入れてあげたいと思っていたところ、この入浴乾燥車の派遣のことを知り、さっそくお願いしました。自宅で、しかも寝ながらの姿勢で入浴ができ、髪もきれいに洗えました。

「おばあちゃん、湯加減はどうですか。」

「ええわあ。気持ちがいい。」

おばあちゃん笑顔はとても穏やかでした。



第58回市民の劇場

坂本冬美ショー

主催/美濃加茂市教育委員会

10月12日(土)

開演/午後2時・6時(2回公演)

A席 5,000円 B席 4,000円

(全席指定)

8月29日(木)から前売り開始

*文化会館友の会の方は8月17日(土)から電話予約を開始します

詳しくは文化会館 ☎25-1108へ



地区だより

地区	期日	内容	場所	時間
山之上	8月31日(土)	交通安全法令講習会	山之上小体育館	19:30～
	9月7日(土)	第20回家庭婦人バレーボール大会	〃	19:00～

図書館 ☎25-7316

■9月の休館日

毎週月曜日、第3日曜日、24日(火)

■9月のおはなしランド

毎週土曜日に午後2時から開催します

新着図書案内

生きている心臓(加賀乙彦) ため息の時間(遠城三紀彦) そこまでやらなくてもいいのに物語(ねじめ正一) ラ・アルカリアへの旅(カミロ・ホセ・セラ) 女六十歳からの心ゆたかな生き方(塩月弥栄子) お母さんになる日(大島清・竹村欣三) 李白全詩集(久保天随訳註) モーツァルト(ミシエル・バルティ) こだわりのコーヒーブック(嘉茂明宏)

そよかぜ号の巡回日程

地区	月日	巡回場所	時間
古井	9月10日(木)	古井連絡所	2:00～2:20
		森山組合マーケット	2:30～2:50
		川合東公民館	3:00～3:20
		東総合グラウンド	3:30～4:10
下古井 太田	11日(木)	田島町二丁目	2:00～2:20
		新池公民館	2:30～2:50
		境松雇用促進住宅	3:00～3:20
		太田第二保育所	3:30～4:10
山之上	12日(木)	佐口公民館	1:30～1:50
		山之上果実農協	2:00～2:20
		金谷公民館	2:30～2:50
		南坂公民館	3:00～3:20
蜂屋	13日(金)	山之上連絡所	3:30～4:10
		矢田公民館	1:30～1:50
		諸田公民館	2:00～2:20
		下東公民館	2:30～2:50
		加瀬田公民館	3:00～3:20
		蜂屋連絡所	3:30～4:10